

令和 7 年度 横浜市学力・学習状況調査の結果について

今年度 5 月に実施されました「横浜市学力・学習状況調査」の全市及び本校の調査結果が報告されました。そちらの結果を受けまして、本校の学力学習状況の分析と考察をお知らせいたします。

なお、児童個人の結果については、すでにタブレット端末（iPad）にて確認をいただいています。

以下分析結果で使用する語句について

- ・学 力……各教科における、「知識・技能」と「思考・判断・表現」について調査した結果です。2・3年生は国語・算数、4・5年生は国語・社会・算数・理科、6年生は国語・社会・算数・理科・外国語を実施しています。（前年度までの学習内容を中心に出题されています）
- ・学習意識……「生活・学習意識調査」の結果から、学習意識（教科の特性や身につけたいかなどを意識して学習に取り組んでいるか、など）についての設問の結果です。
- ・生活意識……「生活・学習意識調査」の結果から、「校外生活」「自己意識」「学校生活」「知的謙虚さ」「好奇心」「メタ認知」「共感性」の7つの観点から設定された設問の結果です。
- ・学力推定値…IRT（項目反応理論）に基づき推定された、児童生徒一人ひとりの「学力」（横浜市学力・学習状況調査における学習の理解や習熟の状況）を表す数値。基準となる学年で推定される値の平均を0としています。（基準学年：国語、算数＝小5、外国語＝中2）

<各学年の学力・学習意識・生活意識調査> ◇よい状況と考えられる内容◆改善が必要と考えられる内容

第2学年

国語	算数
◇時間的な順序を捉えること。 ◆登場人物の口調を具体的に想像すること。	◇前後など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すこと。 ◆数量の関係に着目し、計算の意味や仕方を考えたり、日常生活に生かしたりすること。
学習意識	生活意識
◇ほぼすべての項目で学習に対する意欲が市平均よりも高い。 特に、算数、生活、音楽への意欲が高い。 ◆体育は、他の教科に比べると低い。	◇ほぼすべての項目で、市平均よりも高い。特に、挨拶を自分からしようとする児童や、問題解決の際にじっくり考えて決めようとする児童の割合が高い。 ◆読書をする時間が少なく、一日の読書時間が10分以下の児童が約半数である。また、体を動かすことを好む児童の割合が、市平均を少し下回った。
結果を受けて… 全体的に市の平均と比べて高い学習意識をもっており、意欲的に学習に取り組んでいることがうかがえる。また、人とのかわりや体験活動を充実したことで、学習意識が高まっていると考えられる。高い学習意欲を生かし、今後も学習内容が定着できるように支援していきたい。	

第3学年

国語	算数
◇説明的な文章においてカタカナで書く語を理解すること。 ◆文学的文章では、出来事の順序や会話内容の把握、登場人物の心情や行動理由を想像すること。	◇前後などの方向や位置を表す言葉を用いて、ものの並びや位置を表すこと。 ◆簡単な分数の理解や日常生活に学習したことを活用すること。
学習意識	生活意識
◇全ての教科において学習意欲が高い。特に算数と図画工作が高い。 ◆昨年度に比べると全体的に低くなっている。	◇問題解決の場面でよく考え、学習にも進んで取り組み、自分の考えをもって話し合い活動に参加できている。 ◆タブレットで言葉や絵を送る際に相手の気持ちを考えることや、学習したことを生活に生かすこと、1日の学習時間や運動に主体的に取り組むことに課題がある。また、自分の良さを実感している児童は多くない。
結果を受けて… 学習意欲を生かし、見通しをもった学習や達成感を得られる支援を行う。国語では重要語の抽出や内容把握を段階的に指導し、算数では具体物や生活場面と結び付けて理解を深める。また、タブレット活用時の配慮や自己肯定感を高める声かけを大切に、運動や家庭学習への意欲づけを図るよう支援していきたい。	

第4学年

国語	算数
◇元の文章の表現をそのまま生かして要約すること。 ◆ポスターを読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもつこと。	◇簡単な分数を用いて表したり、日常生活で生かしたりすること。 ◆棒グラフの特徴やその用い方を理解すること。
社会	理科
◇交通の時期などによる変化に着目して、市や人々の生活が移り変わってきたことを理解すること。 ◆事件発生件数の推移に着目した資料を読み取ること。	◇観察や実験などに関する技能を身に付けていること。 ◆実験のねらいにあった結果を適切に記録すること。
学習意識	生活意識
◇算数科の学習では、半数以上の児童が答えを確かめ、求め方をふり返ってよりよい方法がないか考えることができている。 ◆体育科では、課題解決のために考えたことを友達と共有する点において意識が低いことが分かった。考えや気づいたことを伝え合うよさを感じることでできる機会の設定が必要。	◇学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。 ◆横浜市の平均と比べ、家庭での学習時間が短いという結果が出た。毎日の家庭学習を習慣化することで、学力の定着や学習に対する自信をつけさせたい。
結果を受けて… 市の平均と比べて多くの教科で高い学習意欲をもっており、学習への前向きな姿勢がバランスよく育っていることがうかがえる。特に算数や理科への意識が高いため、考える・試す・表現する活動に対して意欲的に学ぶことができていくことが分かる。国語、社会、横浜の時間などで、学びの意味づけや実生活との繋がりを感じられるよう授業の工夫を行い、より学習意識が高まるよう支援していきたい。	

第5学年

国語	算数
◇情景から、登場人物の気持ちを具体的に想像すること。 ◆結論とその理由との関係を捉えること、接続する語句の役割について理解すること。	◇平面図形や立体図形の構成を捉えること。 ◆3位数に1位数を掛ける乗法の計算を確実にできること、億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解すること。
社会	理科
◇より多くの人が見守りやパトロール活動をするこの意味について考え、表現すること。 ◆自然災害に備える人々の働きについて正しく理解すること。	◇人が体を動かすことができるのは、筋肉の働きによることを理解していること。 ◆学習した知識を日常に活用すること。
学習意識	生活意識
◇ほぼすべての項目で学習に対する意欲が市平均より高い。特に横浜の時間、図画工作に対する学習意識が市平均より高い。 ◆算数と理科については学習意識が他の教科に比べると低い。	◇自己意識について、全体的に市平均より高い。特に約束を守ることを大切だと考えたり、自分のことが好きだったりする児童の割合が高い。 ◆1日に読書をする時間がほとんどない、もしくは10分未満の児童の割合が約7割。
結果を受けて…市の平均と比べて高い学習意識をもっており、意欲的に学習に取り組んでいることがうかがえる。また、自己意識を高くもって学校生活を送っていることもうかがえる。高い学習意識を大切にして、今後基礎的な学習内容が定着できるように支援していきたい。	

第6学年

国語	算数
◇文章全体の構成を捉えて読むことや、登場人物の気持ちの変化を読み取ること。 ◆リーフレットから読み取ったことをもとに原因と結果との関係について理解すること。	◇乗数が小数である場合の小数の乗法の意味について理解すること。 ◆図形を構成する要素や図形同士の関係性に着目し、性質を筋道立てて説明したり考えたりすること。
社会	理科
◇資料から得た情報を関連付けて考え、課題を解決すること。 ◆時間の経過と社会的事象の変化について、資料の関連性を意識して読み取り課題解決をすること。	◇実験の手順や実験器具の使い方を理解し、実験を正しく行うこと。 ◆考察を通して、新しい問題を考えること。
外国語	
◇聞くこと、書くことでは、必要な情報を適切に聞き取ったり、正しくアルファベットを書いたりすること。 ◆英語で書かれたメモを読み、必要な情報を適切に捉えること。	
学習意識	生活意識
◇実践が伴う教科では、実感を伴った学び、体験を通した学びが積み重ねられている。 ◆国語、社会、算数、理科においては、既習事項を活用して考えようと意識している。	◇目的意識をもって学校生活に取り組み、学習したことを生活の中で生かそうと意識している。 ◆校外生活の中で、地域の行事に参加したり、家庭学習に取り組んだりしようとして意識している。
結果を受けて…学習意識が高く、意欲的に学校生活を送っている様子がうかがえる。基本となる学習を身に付けたうえで、複数の情報を比較して考えられるように働きかけたり、身に付いたことを日常でも活用したりできるように支援していきたい。	